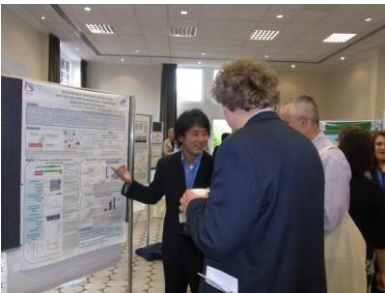


支倉常長フェロー報告書

提出日 2012年 6月 6日



申請者	氏名	羽田 浩士
	所属・職	生物化学分野・大学院博士課程1年
出張期間	2012年 5月 27日 ～ 6月 3日	
渡航先	スコットランド（エディンバラ）	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・（ ）	
発表演題名あるいは 共同研究課題名	Recombinant hemopexin binds heme and induces heme oxygenase-1 expression depending on endocytosis and Bach1 inactivation.	
得られた成果など	“7th International Meeting on Heme oxygenases and Related Enzymes” が、スコットランドにあるエディンバラ大学の John McIntyre Conference Centre にて開催されました。本学会は補欠分子族ヘムの分解酵素であるヘムオキシゲナーゼに関する研究に焦点を当てた国際学会です。 ヘムオキシゲナーゼのアイソフォームの一つであるヘムオキシゲナーゼ-1は、ヘムによってその遺伝子発現が誘導され、細胞内のヘムを分解します。ヘムの分解産物である一酸化炭素やビリベルジンは、各々血管拡張作用や抗酸化作用といった生理作用を持つため、ヘムオキシゲナーゼ-1の発現メカニズムの理解が、基礎ばかりではなく臨床の方面からも必要とされています。 本学会でもヘムオキシゲナーゼ-1の発現メカニズムの理解に向けた研究が多く報告されており、私も「生理的環境における、ヘムによるヘムオキシゲナーゼ-1発現機構の解明に向けた実験系の構築」という内容で発表してきました。本発表では、研究に用いた試料や実験手法が多くの諸先生方に高く評価して頂き、今後の研究の励みになりました。また、オランダの Frank Wagener 先生からは、本実験系に亜鉛メソプロトポルフィリンの利用を提案して頂き、今後の研究をより発展するための良い指針となりました。 本学会を通して、有益な知見と様々な権威の先生方からの貴重なアドバイスを頂きました。このような機会を与えていただき感謝いたします。	
		
		

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。